ドキドキの親子クラブデビュー

1歳1カ月（2023年5月）

非常におそくなってしまったのですが、GW中に子どものお宮参りに行きました。

境内は混みあっておりにぎやかでした。

祈とうの間、子どもが静かにしていただけるか心配でしたが、当の本人は知らん顔で堂々と座っていました。

最後まで泣くことも騒ぐこともなかったのでほっとしました。

1歳をすぎてのお参りなんてとためらっていたのですが、行ってあげたかったので、無事行けてよかったです。

普段の様子としては、この頃の子どもはまだ歩けず、移動は主にハイハイです。引き続きつたい歩きをしてあちこちいそがしそうに動き回っていて活発です。

何でもすぐ口に入れてしまうので、目が離せません。

また、ジェスチャーで「どうぞ」や「だっこして」と明確に伝えてくるようになりました。

さて、児童館の親子クラブに入ってみました。

4月の初回は用事があり参加できなかったのですが、5月からの参加です。

対象は「1～3歳児とその保護者」とのことです。

子どもは1歳になったばかりで、標準よりずい分小柄なため、体格は一番小さいんだろうな、どんな集まりなんだろうと緊張しながら顔を出しました。

先生主導で進行し、まず出席を取ってから、歌ったり体操したり絵本の読み聞かせがあったり、季節に合わせてのイベント遊びを行ったりします。

終始非常になごやかでにぎやかで笑いが絶えず、楽しい時間でした。

子ども達が皆いきいきと活動し、ママさん達ものびのびリラックスしているように見えます。

工作した作品は持ち帰ることができ、子どもは毎回気に入ってギュッと抱えて帰り、離さず、家でもうれしそうに遊んでいました。

様子について気になっていたのは、子どもは確かに体格が一番小さかったのですが、それよりも参加時の子どもの様子のことでした。

終始固まってしまい、笑いも泣きもせず、一言も話さず、じっと周りを見ています。話しかけられてもじっと見ているだけです。ちょっとにらんでいるようにさえ見えます。

シール貼りもまだできません。

まだ早すぎたのかな、この子は楽しめていないのかな、周りにも何だか迷惑だろうかと、次回からの参加をためらってしまう気持ちもわきました。

けれど、親である私自身にはとても楽しく、心安らく時間でした。

そして何より先生たちから「また来てね」と笑顔で声をかけられ、また来てもいいのかなと前向きな気持ちになれ、通い続けてみることにしました。

子ども一人一人を大切にしている様子が印象的で、いいなと思いました。

2歳0カ月（2024年4月）

今年の3月はあまり暖かいとは言えない月で、昼間も寒くて風も強くて外出に向かない日も多かったのですが

日差しがある日には寒くても公園に毎日のように出かけました。

私はずっと外で遊ばせたい、遊ばせなくては！子どもは体を動かさないと！と思いながらも今までずっと室内遊びばかりになってしまったので、公園で遊ばせることができうれしい毎日です。

先月と比べるとイヤイヤ期は、いったんちょっと沈静化したような気がしています。

絶賛イヤイヤ期中ではあり毎日朝から晩まで「イヤイヤ」と言ってはいますが、先月ほど激しくあばれて手がつけられない、という程のことはあまりなかったです。

親側が慣れてきたからかもしれません。

まず「イヤ」と言われることに慣れました。そして、気まぐれにも慣れました。

「複数から選ばせる」「約束を守れたら、ごほうびが出る（場合もある）」「どうしてもいやがるならあきらめる（別の方法を取る等）」で、対応しています。

お食事エプロンについては、気候も良くなってきたのでとうとう「エプロンなし」にしています。

汚れても良いと思える肌着や服で食事させています。

エプロンはつけてほしいけれど、それよりも楽しくしっかり食事を摂ってくれる方が大事だと、今の時点での判断です。

どうしてもまだまだ標準よりも小さい体のため、しつけやお行儀よりも、とにかく食べて、体が成長してほしい！と思ってしまうのです。

一つおもしろいことがありました。

本人の希望で初めてトイレに座らせてみました。

以前から大人のトイレについてきたら、見学させたり説明したりはしていました。

ある日、突然「といれ！」と言い始め、部屋で服を脱いでおむつも脱ごうとし始めました。

体を支えてトイレに座らせると、とてもうれしそうにしています。

一時預かりで保育園に行っているのですが、そこで何かを習ってきたのかもしれませんが。

この日はただ座らせたのですが、「まさか！もうトイレ開始なのか？」と衝撃でした。

もちろん本格的なトイレトレーニングはまだしばらく先かとは思いますが、本人が興味を持っているので、トイレ関連の絵本を用意してもよいかと思いました。

時々教えていないことをしたり言ったりするのでびっくりし、私はそれをとってもおもしろく聞いています。

やっぱり「子育ては一人でするものではない」という言葉は、その通りだなと思います。

ではまた来月・・・。

最後までお読みくださり、ありがとうございました！